



# 真っ直ぐな道はさみしい

ガレージハイブリット  
金子の

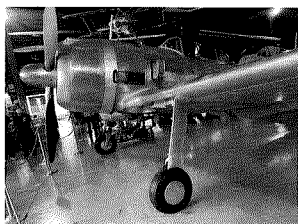
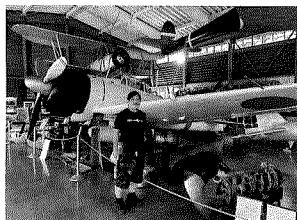
第3号

## エントロピーは増大する

～あっという間に夏は去り……～

秋風が爽やかで、金木犀の香りを運んでくれます。今年の夏季休業には念願叶って「河口湖自動車博物館・飛行館」を目的地にツーリングが出来ました。八月間しか開館していません。自動車館も希少な展示がありますが、飛行機館には、世界的にも貴重な実働の「栄エンジン」もあり、この飛行機館には大戦中の貴重なエンジンや機体が展示されているのです。

僕はとくに「隼(陸軍一式戦闘機)」が見たかったのです。完成している1型と外板の復元が終わったレストア中の2型があります。海軍の「零式戦闘機」も展示があり比べることが出来ます。僕は一連の中島飛行機の陸軍機が好きです。開発秘話や戦後書かれた本では圧倒的に海軍航空隊と零戦の物語が多いのですが、開発システムや設計思想など陸軍機のほうが面白いと思っています。ちなみに中島飛行機は現スバルの源流であり、僕は地元最良もあり、三菱/零戦(ランエボ)より中島/隼(インプレッサ)押しです。



～輸入車なら何でも登録出来ちゃう?～

国内で販売されている車両は、市販される前に「型式認証」という国交省で保安基準に合致している車両かを審査されて認証されています。つまり、1台1台審査しなくても、ナンバーが取得できる国からのお墨付きです。

対して輸入車はどうでしょう? 一番困難な自二(輸入新規検査が必要な250cc以上)でお話します。現地の国で公道走行を走れるモデルであっても、輸入してナンバーが取れるわけではありません。一台ずつの日本の保安基準他に合致しているかの検査があります。それは輸出後に出戻って来た逆輸入車でも同じです。

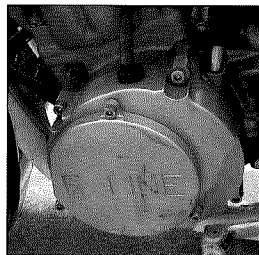
輸入され日本に入国時「通関」検査があります。税金を払い輸入申告が済むと「輸入自動車通関証明」というものが税関で発行されます。さらに、輸入者発行の「譲渡証明」があれば自分を証明することができて「輸入車なのね? 検査してすべての要件に合致したらナンバーあげますよ」という段階に至ります。軽二輪は届け出自動車なので、それに各種の書類だけで登録完了です。

～厳しく面倒臭くなっていくのは世の習い～

なぜ、昔はレーサーが登録できて現在は難しいか? これは二輪車の保安基準や、とくに排ガスの条件が厳しくなったからです。

当時CR500Rなどでは「通関証明」があれば申請書類は少々苦勞するものの、「ほぼ車検(制動力、メーター機能、ライト光軸光量、騒音)」と同じ検査が通れば登録できました。

具体的には低騒音化や保安部品が作動する改造をします。メーカー系またはE-LINE社製のACGを取り付け、交流レギュレーターか、直流出力のレギュレートレクチュファイヤにコンデンサなどで「電源」を確保して保安部品取り付け、スタンドや盗難防止装置を付けます。それを検査場に持ち込み検査を受けます。輸入新規検査も予約した当日に申請書類と資料を出したら完了する時代でした。



現場の検査官の判断でダメ出しはありますが、基本車検ラインをパスすればよかったです。そもそも「レーサー」であろうが、なかり「通関証明」があれば「輸入車」のオートバイであったわけです。

しかし、現在は「製造者」からの(保安基準に合格しているか? ブレーキや加速騒音、馬力は? 何年何月製造?) などの書類が必要になり、メーカーから寄せて申請書を作ります。



当然「レーサー」などの車両には出ません。ここで、以前は自由だったのがメーカーの意思でコントロールできるわけです。CR500Rに出すわけじゃないですね?

さらに「ガス検」と呼ばれる排気ガスの検査は公的な機関での証明を必要とします。車検のようにアイドリング時のCO/HCだけでなく走行状態でのNOxも含めた重量比で、なおかつ「走行モード」という台の上での実走シミュレーションの検査で、2日間の検査になり、1台ごとに11～16万円の検査費用は、個人輸入を断念するコスト増になります。当然2stは元より、排ガス対策のないレーサーは無理になります。

昔の輸入車の「何でもあり」から、まるでエントロピーが増大する如く、時間経過とともに世の中は楽しくなく「面倒な」方向に進みますね! そして戻ることはないのです。

若者の皆さんがよく聞く「昔はよかった」と年寄りが語る過去との比較は、ことバイクやクルマでは真実だったりするのです。人間「ホビー」が必要ですから、乗り物を運搬移動手段の道具として見ないで、趣味やヘリテイジなど作り文化や文明として保護して欲しいものです。この夏、大戦機やエンジンを見て「当時のアジアの域内」で、唯一このレベルの技術と生産を可能にした日本に誇りを感じましたが、航空機では過去の栄光ですね。ここで、少し文化的側面から施政しないと、今、世界一の二輪生産大国の日本が過去の話になるのでは? と思ったのです。

### 金子幹典

工業高校から自動車整備業界に就職して工場長を経験して26歳の時にガレージハイブリットを開業して35年、オフロードバイクの販売修理をメインにイベントや海外ツーリング等も運営、最近では整備士養成も力を入れてます。沖縄とアジアが大好きです。

50～125cc以下	原付	市町村ナンバー
125～250cc以下	軽二輪	県ナンバー
	二輪の検査対象外軽自動車(車検無し)	
250cc以上	小型二輪	県ナンバー
	小型二輪自動車(車検あり)	